

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟 役員選任「立候補意思表明書」

2017年4月吉日 氏名 内田孝也

**【JHF 活動履歴】**

1985年 第5回ハンググライディング世界選手権大会（オーストリア・コッセン）

出場：選手としてJHFより派遣

1991年～2001年 第8回～第13回ハンググライディング世界選手権大会

日本代表チーム：チームリーダーとしてJHFより派遣

1993年 東京都ハング・パラグライディング連盟設立 理事就任

2006年から理事長 現在に至る

1997年～2006年 JHF 選挙管理委員会 委員（2002年から委員長）

2007年 JHF 理事就任（2009年～2015年重任）

2010年 第2回パラグライディングアジア選手権大会（四国）主催

2011年 公益社団法人移行認定・登記

現在に至る

**【JHF 定款への理解】**（どれかひとつをマルで囲んでください）

熟知している

**【立候補意思表明】** 公益社団法人 JHF の活動に関するご自身の考え。

その際に下記3点を含めて下さい。

- (1) 今の JHF の活動で課題と考えている事 (2) 今後の JHF が活動していくべきと考える事 (3) ご自分が理事として実践していきたい事

内田孝也です。まだ理事を続けようという思いを述べます。初めて JHF の理事になった時、その動機をご説明したことがあります。それは、私にとっての JHF はなんであったかという事です。1977年、その数年前に日本に上陸したハンググライダーが、空を舞う自由を満喫していた時に飛び始めましたが、すぐに危ないものとして規制を受けようとしていました。その時、フライヤーを組織化し、法規制ではなくフリーフライトを任せる自主規制案を取り決めた先輩達がいたのです。おかげで私は飛べる自由を謳歌し、競技にのめり込んで各国選手ともつながって、その恩恵に感謝することになりました。それからは、自分の後進の為に、どうしてもこの国でフリーフライトを守り、飛ぶ自由を残さなければと強く思うようになり、JHF でその役に立ちたいのです。

それでは、JHF にとって私はなんであるか。公益認定を受ける前から、JHF はフリーフライトを任された自主規制機関として、公的機関と対等に対峙できる規律性と偏りのなさが必要でした。JHF は一部の人の利益代表ではなく、かといって杓子定規な管理事

務のみの組織でもだめな訳です。自主規制を守るために血を通わせる役を私は担いたいと思っています。その延長で、JHFは一部の関係者の傍若無人な振る舞いにより、社会的制裁を受けることが無いよう、戒めていく存在でないといけないと思います。スカイスポーツの上位団体はもとより、国土交通省や内閣府と、信頼関係を持続して、この国に100年後も自由にハングライダー・パラグライダーのフライトができる環境を整備していく、それが私に課された宿題なのだと考えています。若かった私を自由に飛ばせてくれた先達への恩返しでもあります。

そういう認識のもと、JHFの活動課題は何かというと、わかりやすい問題は愛好者数の減少であり、このスポーツの再活性化という事になると思いますが、本質的には細く長くでも維持できるのであれば単純に人数の問題と捉えてはいけない気がします。昨今、FAIでもスカイスポーツのオリンピック参加に注目が集まり、東京2020で採用されたマイナースポーツにアスリートが殺到するなど、注目を集める効果は喜ばしいものがありますが、私の考える活動課題は社会的信頼の獲得だと思います。

したがって、私の考えるJHFの活動方針は、目先のアピールや経済効果も大切にしますが、やはり安全性の向上という事になります。どのようなスポーツか知ってもらう体験から、空を目指し練習をして技能を獲得していく過程、そして一人前のパイロットとして認められたのちにも更なる向上が続き、その間決して無理なチャレンジにならないことが必要です。じつは、これは私が飛び始めた頃のワクワク感のある自由な世界とは変わってしまい、制約を伴うのですが、時代の変化と考えます。

そして、JHFが社会的信頼を高めていくために、私が理事としてすべきことは、なにか。JHFの財務体質は潤沢な資金を回して業界関係者を満足させられるものではなく、自主的に活動を支えてくれる、多くの関係者に依存しています。その皆さんが、何故JHFのために仕事をする気になれるのか熟慮します。自主性をもって良かれと思う事を実行し、その結果に達成感があり、また全国のフライヤーから感謝される、そういう環境の提供とそのための資金配分をしていきたいと思っています。満足度の高い仕事の成果というものが、おのずと組織自体の活動の評価につながっていくと信じているからです。

6月の総会で、再び私を理事に選任いただきたく、よろしくお願い申し上げます。